

自分の顔を映してひげをそれるまで鏡面に中でも創業者の神戸常吉さんが手がけるパフ

町工場の技 176

モノづくり支える

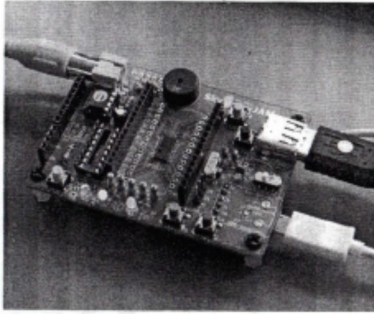
神代工業

注意を払いつつ、手の感覚のみを頼りに削っていく(写真)。「風呂の湯船から小さな部品まで研磨するモノは多種多様。経験により、自然に精度が変わらな

上げ

微妙な寸法は

組み立てたSkyBerry JAM。市販品を改良し商品化



小学校プログラミング必修見据え

こどもパソコン 栃木工高が開発

機器接続、簡単に

【宇都宮】栃木県立栃木工業高校(栃木県栃木市、湯澤修一校長、02882-224138)は、子どものプログラミング教育向けにプログラミング専用パソコン「SkyBerry JAM」を商品化した。ハンダ付けなどで組み立てた後、モニターにつなぎ、プログラムを打ち込むことでゲームなどが作れる。消費税込みの価格は2500円。初年度200個限定で販売する。

プログラミング専用20年から小学校でパソコンは、VKS(宇都宮市)にてプログラミング教育が必修化されるのを見据え、栃木市内の小学校で出前講座などを開催しながら、プログラミング専用パソコンを商品化した。同校は商標登録を申請中。情報技術科の山野井清秀教諭は「高校のブランドイメージ向上につなげたい」としている。

静岡・磐田

【浜松】磐田商工会議所は12日、地元に立地する大手と中小の製

リビングとちぎ 2017年7月8日号 (栃木リビング新聞社)



テレビに接続してプログラミングする生徒たち

普及活動を行う電算機部2年生と、栃木のイチゴ「スカイベリー」にちなんで名前を付けた、名刺サイズの「SkyBerry JAM」。名称とロゴマークは、現在、商標登録申請中。「組立キット版」(2500円)は、一般販売しています。詳細は同校webサイトで確認を。



とちぎの研究・開発は高校生たち

栃木工業高校発！こどもパソコン「SkyBerry JAM」

県立栃木工業高校の情報技術科が設計・製作した、やりたいと大きな反響が子ども用プログラミング専用パソコン「SkyBerry JAM(スカイベリーJAM)」。市販の子どもパソコンを参考に、独自の回路を追加、拡張し、同校オリジナル製品として「組み立てキット」を商品化しました。同校では2年前から情報技術科の課題研究として子どもパソコンの研究を開始。小学校でのプログラミング授業必修化のニュースも追い風になりました。現在は、「簡単にプログラミングができるので、多くの子どもが、電算機部の生徒たちが組み立てやプログラミングの講座を開くなど、普及の市場調査を兼ねた小中学校でのプログラミング出前講座を見せたい」と意欲を見せていました。

子どもたちにプログラミングの楽しさを

家庭用テレビとキーボードに電源を接続すればデジタル製品として「組み立てキット」を商品化しました。型的小型ロボットなどにも装着できる同パソコン。一般のパソコン接続やデータ保存などの機能も備えています。

2年生の早乙女亜弥さんも「簡単にプログラミングができるので、多くの子どもたちに使ってもらいたい」と笑顔。担当の山野井清秀先生は、「この分野での日本一の工業高校を目指したい」と意欲を見せていました。

2017年7月8日 1213号
次号発行は7月15日です

リビング とちぎ

発行 栃木リビング新聞社
〒320-0811 宇都宮市大淵 1-4-24
☎ 028(600)8800

無料 リビングとちぎHP: <http://lm-living.com/>